



Haiku Bar 2025

お題「秋の灯」

令和7年9月27日（土）18：00～21：00

ホテル三浦華園 ライラックホールにて開催

国学院大学北海道短期大学部

秋の灯よ寿陵のごとき積ン読よ	青山酔鳴	お名前・俳号
秋の灯や虚業のごとく稿を継ぐ	橋本喜夫	
秋灯や聡く老いたるオウムの目	すずきなずな	
秋灯義母の入れ歯が見つからず	月岡道晴	
眼帯のずれて秋の灯うるみゆく	吉田知寿子	
秋の灯や父さんお茶を入れませう	宮崎淑子	
秋の灯や古事記に没入出口無く	手嶋孝康	
秋灯や江戸切子に酌む良き一日	佐藤敦子	
秋の灯は君のかたちをして喪家	柊月子	
乾きゆくキャンバスは海秋灯下	金行康子	
『国宝』を観終えて秋の灯の街へ	児玉佳恵	
秋灯下我が子の重み背に沁みる	大原為流	
家系図の妣の線引秋灯下	阿部敏男	
秋の灯の沁みゆくや師の言の葉に	堀本裕樹	
秋の灯やコナン次のエピソードへ	月岡展人	
ダーウィンがきてかえらない秋灯下	月岡郁乃	
秋の灯や多分タイのドキュメンタリー	山田航	
秋の灯やあと二頁の俳句帖	月岡奈楽	
秋灯運命線をじつと見る	中村みずほ	

国学院大学北海道短期大学部
Haiku bar 2025 作品集 お題「秋の灯」

お名前・俳号	秋の灯や味噌汁かほり換気扇	武田晴翔
五十嵐秀彦	バス停に秋の灯死者を待つところ	興梠江里佳
庭石にソーラーライト秋灯す	秋の灯と 匂う紅茶 本ぺらり	吉村泰知
秋の日や祖父の寝間着のはだけたる	秋の灯と 雄待つ螢は 蜘蛛照らす	仙徳航希
秋の灯や魑魅魍魎にも良きところ	ご先祖のお迎え送る秋灯 ^{あきともし}	梶谷美千子
秋の灯や書をめくる手に薄茜	ふよりふより秋の灯香る故郷かな	分銅優吾
秋灯に網膜めくや腕時計	ざら紙のなだれて秋の灯の白さ	檜山朝寝
秋ともしドールは昨日とちがう笑み	秋の灯や家出帰りの梅茶漬け	長部愛梨
本閉じて音の重さや秋灯下	友と見る秋の灯 ^{あきともし} 湖面に立つ	小林ミツ子
黒坂松代		

ご応募いただいた作品の中から、掲載のご承諾をいただいた作品を紹介しております。
(順不同)